

# 三滝だより

NO. 243

2019年9月15日発行



## だいがっしょう アオマツムシの大合唱！

リーリーリーリーリー…♪ リーリーリーリーリー…♪

と、かん<sup>だか</sup>高い<sup>こえ</sup>声が、三滝少年自然の家の夜空<sup>みたきしょうねんしぜん いえ よぞら</sup>いっぱい<sup>い</sup>にひびきわたってきます。

あき<sup>あき</sup>な<sup>な</sup>こんちゅう<sup>こんちゅう</sup>だいひょうてき<sup>だいひょうてき</sup>  
秋に鳴く昆虫の代表的なものとしては、スズムシ、コオロギ、  
マツムシ、キリギリスなどが有名<sup>ゆうめい</sup>ですが、都会<sup>とかい</sup>で鳴き声<sup>きこえ</sup>を聞く機会<sup>きかい</sup>  
が一番多い<sup>いちばんおおい</sup>昆虫は、アオマツムシ<sup>い</sup>と言われています。コオロギ<sup>おな</sup>と同じ  
なかま<sup>なかま</sup>の昆虫です。この昆虫の名前はなじみのうすいものですが、鳴  
き声<sup>きこえ</sup>だけは、だれ<sup>だれ</sup>みみ<sup>みみ</sup>  
誰の耳にも聞きなれたものとなっています。

からだ<sup>からだ</sup>はね<sup>はね</sup>むね<sup>むね</sup>みどりいろ<sup>みどりいろ</sup>うし<sup>うし</sup>あし<sup>あし</sup>みじか<sup>みじか</sup>せいそく<sup>せいそく</sup>  
アオマツムシの体は羽と胸が緑色、後ろ足が短く、生息してい  
る場所<sup>ばしょ</sup>は主にサクラやウメ、モモなどの木の上<sup>き うえ</sup>です。8月～11月、  
なつ<sup>なつ</sup>お<sup>お</sup>ころ<sup>ころ</sup>から秋<sup>あき</sup>の終わりにかけて見る<sup>み</sup>ことができます。この  
にほん<sup>にほん</sup>には、たくさんの鳴く虫<sup>むし</sup>たちが生息していますが、それらの多  
くは、くさ<sup>くさ</sup>  
草むらで生息しています。アオマツムシは、それらとは生息  
かんきょう<sup>かんきょう</sup>この  
環境の好み<sup>この</sup>がちがうようです。

また、このアオマツムシは、むかし<sup>むかし</sup>から日本に生息していた昆虫では  
ありません。日本へしんにゅう<sup>しんにゅう</sup>侵入して1970年<sup>ねん</sup>頃から急激<sup>きゅうげき</sup>に生息を拡大<sup>かくだい</sup>し  
はんしょく<sup>はんしょく</sup>  
繁殖して、日本の各地<sup>かくち</sup>に住みつ<sup>す</sup>くようになったと言われています。

なぜ、このアオマツムシが日本で大<sup>だい</sup>繁殖できたのでしょうか。  
いくつかの理由<sup>りゆう</sup>があげられています。

- (1) 日本<sup>きこう</sup>の気候<sup>てきおう</sup>にすぐに適応<sup>てきおう</sup>できたこと。
- (2) 幼虫<sup>ようちゅう</sup>が食べる植物<sup>た</sup>が限定<sup>しよくぶつ</sup>されなかったこと。
- (3) 天敵<sup>てんてき</sup>が少<sup>すく</sup>なかったこと。

これらのことから、この日本へ侵入して生息を拡大しようとする  
がいらいしゅ<sup>がいらいしゅ</sup>の昆虫が定着<sup>ていちゃく</sup>するための条件<sup>じょうけん</sup>でもあるのです。

じん<sup>じん</sup>むかし<sup>むかし</sup>  
日本人は昔から秋の虫の鳴き声<sup>あい</sup>を愛<sup>あい</sup>してきました。アオマツムシ  
の鳴き声<sup>い</sup>は、いま<sup>いま</sup>つ<sup>つ</sup>を告げる風物詩<sup>ふうぶつし</sup>（季節<sup>きせつ</sup>の感じ<sup>かん</sup>をあらわしている  
もの）となっています。

みたきしょうねんしぜん いえ しきちない  
三滝少年自然の家の敷地内にはたくさんの昆虫がいます。鳥<sup>とり</sup>もいます。自然<sup>しぜん</sup>

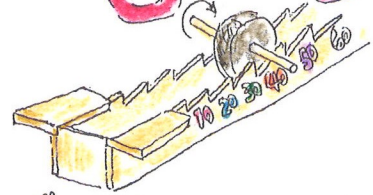
がいっぱい<sup>てんぼうだい</sup>です。展望台<sup>けしき</sup>からの景色<sup>さいこう</sup>は最高<sup>あど</sup>です。遊び<sup>き</sup>に来てください。

公益財団法人広島市文化財団  
広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター  
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20  
TEL082-238-6301 FAX082-238-6302  
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

# さたにーのクラフト教室

## ローラーゲームを作ろう

フェイスブック動画配信中!



準備するもの

材料・平板 厚さ1cm 幅5cm 長さ100cm × 3枚

丸棒 直径1cm 長さ15cm

丸太 直径8cm 厚み3~4cmくらい

道具・ノコギリ工作用 (あさりの目の細かいもの)

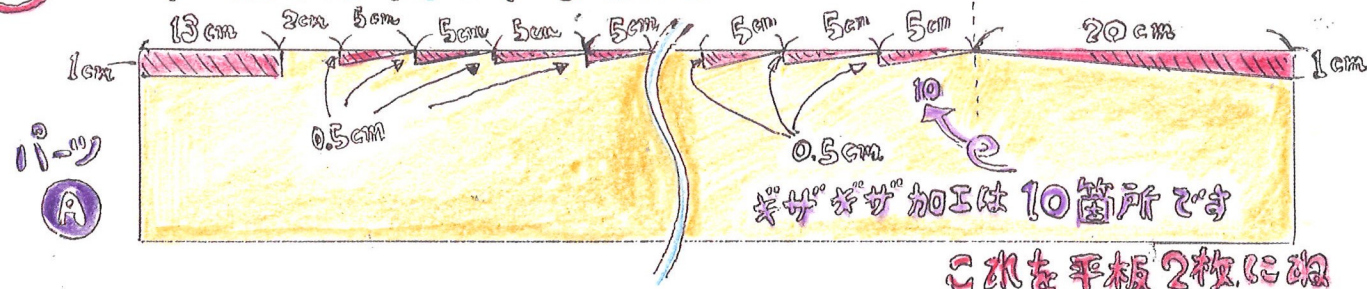
ドリル と ドリルの刃直径10mm

サンガネ (L字ものさし)

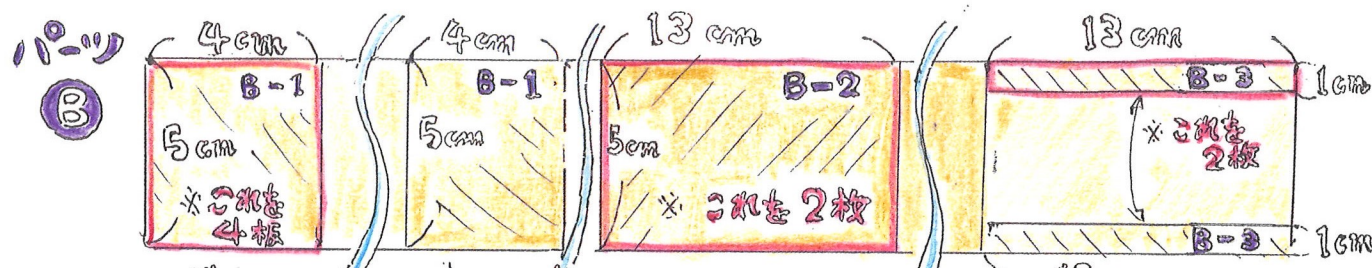
木づち  
木工ボンド

紙やすり (木を切った後、角が気になる場合は使う)

① 平板にカットする為の線を引くよ (斜線をcutするよ)



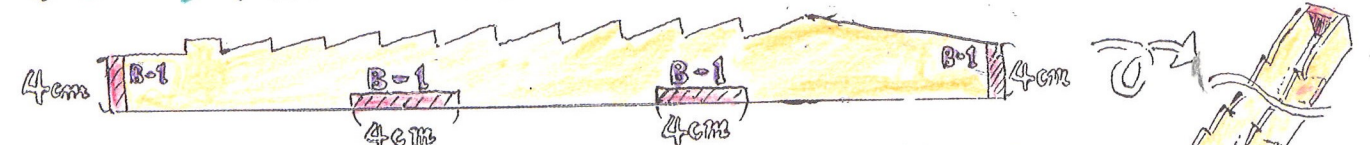
これを平板2枚にぬ



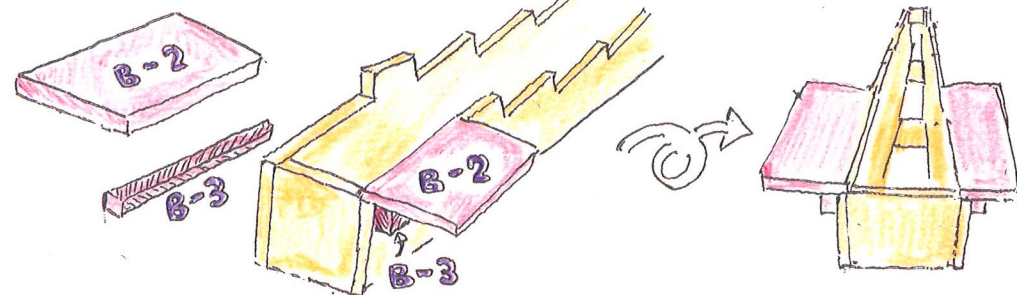
※図には切りしろが書いてないけど、ノコギリの切りしろは必要です。

② 線が引けたら パーツA・パーツBを正確に切り出すよ  
パーツAのギザギザはちょっとムズカシイよ! ガンパッテね

③ 切り出したパーツを木工ボンドで接着していくよ!  
パーツAのどちらか1枚にまず パーツB-1(4枚)を接着して もう1枚のパーツAで木工ボンドをつけてサンドイッチするよ

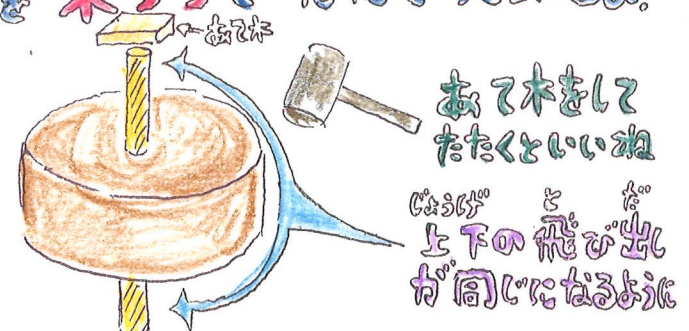


④ 次はパーツB-2・B-3のスタート台の取り付け



⑤ ローラーの作成

直径の中心に1cmの丸棒が入るようにドリルで  
まっすぐに穴を開けて丸棒を木づちでたたき入れるよ!



おしげと  
上下の飛び出し  
が同じになるよ!

⑥ 最後に パーツの側面に得点を書いて完成です。



目がまわる

たんじめんだけも  
おもしろいよ!